

26年前の統合を経て…

獅子島小で閉校式

3月末で閉校となる獅子島小学校



祝賀会で和太鼓と竹太鼓を披露する児童たち



一人一人が同校での思い出を語った「別れの言葉」

26年前、片側小学校と御所浦小学校が統合した獅子島小学校（日高好治校長）は、新たな再編で幣串小学校と統合することになり、2月24日、同校で閉校式が開催されました。この日会場には、閉校を惜しむ校区民や同校卒業生、同校に勤務していた教職員ら約200人が出席しました。

式辞で日高校長は「同校は最高64人の児童がいた時代から現在は12人。少人数の学校だったが、地域に見守られいろいろなことチャレンジしてきた。同校で培った教育をもとに21世紀の子どもとして羽ばたいて」と感謝の気持ちと期待の言葉を述べました。

別れの言葉で全校児童の12人は、昨年度作詞した曲「ありがとうししま」を合唱。最後に一人一人が同校での一番の思い出を発表しました。

最後の卒業生で、卒業証書179号となる梅川翔平くんは「みんなと協力しながら楽しい時間を過ごすことができた」と6年間を振り返り、同180号の島田梨於那さんは「閉校は寂しいけど、中学校では友達をたくさんつくり部活動を頑張りたい」と抱負を話しました。同校の卒業生で、この日式典に福岡県から帰省した大学生の田口諒人さんは「自分も獅子島でさまざまなことを学び育った。これからも同校の卒業生として誇りをもって」とエールを送りました。

式典終了後、同校前庭に設置された記念碑の除幕式が行われたほか、祝賀会では、児童による和太鼓と竹太鼓が披露され、たくさんの拍手が送られました。

学校長と児童代表による校旗返納



閉校記念碑の除幕を行う関係者

